

第2次菊川市総合計画「将来像」(案)

＜ 総合計画審議会委員 及び 市議会議員 からの意見・提言 ＞

参考資料 1

1. 第2次菊川市総合計画に掲げる「将来像」(案)

【案】「みどり ときめき たしかな未来 菊川市」

菊川市は、豊かな自然環境を持つ、鮮やかな緑に包まれた地域です。「みどり」は、自然・お茶・農産業・芽吹き(誕生)・若さ・活力・郷土・安全安心などが連想され、その一つひとつが、まちづくりに必要なキーワードでもあります。

この「みどり」を活かし、市の発展性、将来への希望、恋愛、結婚、生活など喜びや期待に心がおどるようなまちづくり目指します。

また、これからの菊川市の未来が、魅力があり、幸せな生活環境、「住んでよかった、住みたくなるまち」として、これからも未来へ繋げ、継承し、持続可能なまちを将来像とし、まちづくりを進めていきます。

この将来像は、第2次菊川市総合計画の計画期間である平成37年(西暦2025年)の「あるべき姿」として設定しまちづくりを進めていきます。

「みどり」	自然・お茶・農産業・芽吹き(誕生)・若さ・活力・郷土・安全安心など、あふれる自然、大切にしたいふるさと、良好な環境をイメージした言葉で、合併時の新市将来構想や第1次菊川市総合計画からも継承するものになります。
「ときめき」	これからの市の発展性、将来への希望、恋愛、結婚、人口増などをイメージしています。
「たしかな未来」	菊川市をこれからも未来へ繋げ、継承し、持続していくことをイメージしています。

2. 総合計画審議会委員からの意見・提案

◆ みどり ときめき 輝く未来 菊川市

【委員】 この案が良いと思う。

◆ ずっとあんしん ぐらしやすいまち きくがわ

【委員】 市長が提唱する「安心、安全なまちづくり」にも合い、余計な語句も無く小学校低学年でも理解できる。

◆ “未来へつなげ” 輝く「笑顔」咲き誇る みどりの都市 きくがわ

【委員】 みんなが笑顔で暮らせるまちがいつまでも続くイメージ

◆ みどり ときめく たしかな未来 菊川市

【委員】 「ときめき」という名詞より、「ときめく」という動詞の方がリズムカル。「輝く」より「たしかな」の方が意味としても深い

◆ 「みどり」「安心」「共創」の街 菊川 この街に生きる

【委員】 「みどり(自然)」は、自然の象徴として
「安心(生活)」は、菊川の売りとして
「共創(志)」は、市民一人ひとりの決意であり、今、菊川に求められている市民資本としてそれぞれの案もよいが、他市と比べ差別化がありません。文言は体言止めで歯切れとリズムは良いがインパクトが出ません。美辞麗句で埋め尽くされ現実味がない。他市の多くも行政目線の将来像で市民はあまり関心がなく他人事になっています。将来像は市民の決意表明であることから、他市との差別化、インパクト、菊川の現実と危機感、ピンチをチャンスに変える市民一人ひとりのたくましが表現された案を選んでください。

◆ みどり げんき しあわせ ～未来へつなごう 菊川のまちづくり～

【委員】 「みどり」あふれる自然、大切にしたいふるさと、良好な環境など
「げんき」活性化、前向き、健康など
「しあわせ」地方自治の本旨「住民の福祉のこう進」＝しあわせ
このキーワードを基に作成しました。

◆ みどり豊かな協働のまち 菊川

◆ みどり豊かな共創のまち 菊川

【委員】 一人ひとりが市民として菊川に誇りを持ち、役目を持ち、持続可能なまちとしての仕組みを創り、運営するイメージ。
そこには、財産である豊かな自然、茶畑を活用した資本づくり、高齢者や子どもが安心できる貧困のない社会システム、そして若者がチャレンジできる雰囲気づくりをイメージ。
「未来」は、明日も未来なので、キーコンセプトの中に入れない方がいいかと思います。「都市」については、いわゆる都会的なものは目指さない方がいいと思うので、入れない方がいいと思います。

3. 市議会議員からの提案

※【(案)「みどり ときめき たしかな未来 菊川市」を基にした意見】

◆ みどり ときめき たしかな未来 菊川市 生き活き つながる未来 いきいき 元気な未来 活力

【市議会議員】 「生き活き」…生き生きした、活力がある
「活力」…「生き活き」は形容詞的なので単語とした。